

# 令和7年度带状疱疹ワクチン予防接種の助成(定期・任意)について

令和7年4月1日から带状疱疹ワクチンの予防接種費用の助成が始まります。



## 【定期接種について】

### 1 対象者

令和7年度末日（令和8年3月31日）に下記の年齢となる方

65歳：昭和35年4月2日生～昭和36年4月1日生まれ

70歳：昭和30年4月2日生～昭和31年4月1日生まれ

75歳：昭和25年4月2日生～昭和26年4月1日生まれ

80歳：昭和20年4月2日生～昭和21年4月1日生まれ

85歳：昭和15年4月2日生～昭和16年4月1日生まれ

90歳：昭和10年4月2日生～昭和11年4月1日生まれ

95歳：昭和5年4月2日生～昭和6年4月1日生まれ

100歳：大正14年4月2日生～大正15年4月1日生まれ

100歳以上：大正14年4月1日以前生

60～65歳未満でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

### 2 期間：**令和7年4月1日～令和8年3月31日**

3 助成の方法：対象者には令和7年4月中旬に「お知らせ兼受診票」をお送りします。接種を希望される方は必ず「お知らせ兼受診票」を医療機関に持参してください。

4 接種医療機関について：原則は曾於市内の指定医療機関で接種してください。ただし、鹿児島県内の曾於市外及び県外にかかりつけ医がある方、入院・入所等の方は、接種される前に必ず市役所 保健課へお問い合わせください。

## 【任意接種について】

1 対象者：定期接種の対象者以外で、**曾於市に住所を有する50歳以上の方**

2 助成の方法：**事前申込みが必要です（電話可）**

「お知らせ兼受診票」をお送りします。**必ず事前に保健課までご連絡ください。**

3 接種医療機関について：保健課に申込みの際にご確認ください。

## 【ワクチンの種類について】（任意・定期）

带状疱疹ワクチンには生ワクチン、組換えワクチンの2種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続時間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する高い予防効果が認められています。

接種を希望される方は、（表1）の記載内容を参考にして医師と相談の上、接種するワクチンをご検討ください。

(表1)

ワクチンの種類		組換えワクチン	生ワクチン
接種回数		2回(筋肉内に接種)	1回(皮下に接種)
接種スケジュール		2か月以上の間隔を置いて2回接種 (6か月未満まで)	—
接種できない方		免疫の状態に関わらず接種可能	病気や治療によって、 免疫が低下している方
接種に注意が必要な方		筋肉内に接種するため、血小板減少症や 凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施 されている方は注意が必要です。	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた 方は治療後3か月以上、大量ガンマグロ ブリン療法を受けた方は治療後 6か月以上置いて接種してください。
効果持続 期間	接種後1年	9割以上	6割程度
	接種後5年	9割程度	4割程度
	接種後10年	7割程度	—
主な副反応		注射部位の疼痛(70%以上)、注射部位の 発赤、筋肉痛、疲労(30%以上)、 頭痛、注射部位の腫脹、悪寒、発熱、 胃腸症状(10%以上)、 掻痒感、倦怠感、その他の疼痛(1%以上)	注射部位の発赤(30%以上)、 注射部位の掻痒感、熱感、腫脹、疼痛、 硬結(10%以上)、発疹、 倦怠感(1%以上)

## 【助成の回数及び金額】(定期・任意)

ワクチンの種類	回数	市の助成額	
		一般	生活保護受給者
組換えワクチン	2回	1回につき 10,000円	1回につき 15,000円
生ワクチン	1回	4,000円	7,000円

※接種料金と助成額の差額分は自己負担となります。

※令和7年3月31日以前に、自費で組換えワクチン(带状疱疹ワクチン)の1回目を接種された方で、令和7年4月1日以降に2回目を接種する場合、2回目については助成対象となります。

※任意接種の方で組換えワクチンを接種した場合、1回目と2回目の接種間隔が6か月を超えると助成の対象となりません。(例：1回目が6/3の場合、2回目は12/2までに接種)

(問合せ)

曾於市役所 保健課 健康増進係 TEL : 0986-76-8806